# 洛東エリア

### 賀茂川公園

水と緑の輝きにひかれて，鴨川の河川敷には多くの人たちが集います。高野川と賀茂川が合流する出町柳の浅瀬には，亀や兎をかたどったユニークな飛び石があります。

### 無鄰菴

明治・大正の元勲として知られる山縣有朋が京都に造営した別荘。敷地の大半を占める庭園は，有朋の設計・監督のもとに，明治期を代表する京都の庭師・小川治兵衛が手がけたもの。東から西に開けた芝生の広場にゆったりとした流れが設けられています。

### 哲学の道（琵琶湖疏水分線）

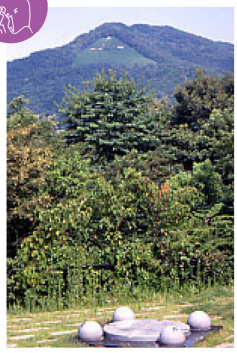
銀閣寺から若王子神社までの琵琶湖疏水分線沿いにつづく「哲学の道」。その愛称は哲学者の西田幾多郎にちなんでいます。沿道には約450本のソメイヨシノが植えられています。沿道では手入れされた生け垣なども楽しめます。

### 琵琶湖疏水のサクラ並木

京都に新たな産業と文化をもたらした琵琶湖疏水。明治30年代後半からサクラやカエデなどが植えられ，散策路も整備されました。

### 円山公園の「祇園枝垂」

円山公園は京都市でもっとも古い公園です。太政官布告にもとづいて明治19年に付近一帯の社寺境内地を公園に指定し，明治22年の市制施行とともに京都市に移管されました。その後明治末期までに公園区域を拡張し，自然の丘陵を利用して渓谷をつくり，低地に池を設けて噴水施設を設けました。これらの築造を手がけたのは，七代目小川治兵衛です。円山公園のシンボルの枝垂桜は，江戸時代から「祇園枝垂」の名で親しまれきました。現代のサクラは初代の種を実生で育てた二代目で，昭和24年に移植されました。



### 吉田山緑地

神楽岡一帯が吉田山と呼ばれるようになったのは，西麓の吉田神社に由来します。中世には戦場となり，のちに墓地になりましたが，民間による開発計画を契機に保全運動がわきおこり，平成6年に14haが特別緑地保全地区に指定されました。山頂の展望広場は，大文字を望む特等席です。

# 嵯峨・嵐山エリア

### 渡月橋から望む小倉山

お椀を伏せたようなこんもりとした稜線が特徴的な小倉山。小倉百人一首の名は，晩年の藤原定家が小倉山の山荘の障子に貼った百枚の色紙に自ら撰した百首を書いたことに由来します。小倉山の麓，渡月橋から亀山公園に向かうあたりには多くのアカマツが育っています。

### 嵯峨野の歴史的風土特別保存地区

清少納言が「枕草子」で「野は嵯峨野，さらなり……」と讃えた嵯峨野一帯は，ふるくは嵯峨野天皇をはじめとする皇族・貴族が山荘や寺院を営んだ地。『古今和歌集』や『源氏物語』，松尾芭蕉の『嵯峨日記』などの文学作品にも数多く描かれています。毎年春には，市内の保育園・幼稚園の園児や保護者ら2,500人が参加して，右京区民ふれあい事業「レンゲを摘む会」が開催されます。

### 大沢池

平安時代初期に嵯峨天皇はこの地に離宮・嵯峨院を造営し，同時に苑池を設けました。それが現在の大沢池です。その後，離宮を寺院に改めて大覚寺となりました。中国の洞庭湖を模してつくられた池には，二島一石（天神島，菊ガ島，庭湖石）が配されています。池をとり囲むように植えられたサクラやカエデ，マツなどが四季折々に水面を彩ります。月の名所としても知られ，秋には観月会が催されます。池に注ぐ小さな流れを北に100mほどさかのぼると，山裾にひっそりと「名古曽滝跡」があります。

### 竹林の小径

野宮神社から大河内山荘あたりまでつづく竹林。キラキラと木漏れ日が降り注ぐ中，軽やかな葉音をBGMに，すっと伸びるマダケの鮮やかな緑と渋茶色の柴垣のコントラストをお楽しみください。

### 西芳寺川
### イロハモミジ

烏ケ岳を水源とする西芳寺川は，西芳寺と地蔵院の間を抜けて松室北河原町で桂川と合流します。華厳寺橋から西芳寺橋にかけての川沿いは，ソメイヨシノとイロハモミジの並木道。いずれの木々も歳月をへて大木に育っています。